



ファンド研究所にお越しのみなさま

こんにちは、**ファンド研究所**です。

本日は、ファンド研究所第一弾プロジェクトの運用体制のご紹介です。

研究対象となるファンドの運用は、当運用戦略の発案者でもある三菱UFJアセットマネジメントの株式運用部「日本株グロース戦略」に所属するファンドマネジャー 山崎 耀 が担当いたします。

Profile

山崎 耀 Yamasaki Hikaru



2018年に三菱UFJ国際投信（現 三菱UFJアセットマネジメント株式会社）に入社。約5年の短期金利・円債のトレーダー経験を持ち、その後株式運用への強い思いから株式運用部に異動。金利と株式の両面に強みを持つ、いわば「二刀流」のファンドマネジャーとなる。国内外の株式の調査業務に従事したのち、日本株グロース戦略のチームに所属。情報・通信、サービス業、運輸などを担当し、現在に至る。
好きな映画は「スター・ウォーズ」。誕生日は“スター・ウォーズの日”と称される5月4日。

※上記内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

※所属部署・役職は、2026年4月時点のものです。

※上記は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

※上記は個人の見解も含まれており、必ずしも当社の考えをお示しするものではありません。

Message & Interview

／ はじめまして、山崎です。／

Q. ご自身の性格を教えてください。



研究者気質なところだと思います。
掘り下げて調べるのが好きなので、まだ多くの人が気づいていないテーマや可能性を見つけることは得意かもしれません。

Q. 宇宙×日本株というテーマは山崎ファンドマネジャーの提案とのことですが、どんな思いがあったのでしょうか。

私の根底にあったのは、「運用会社は、受益者の利益を追求しながら日本の成長にも寄与する投資をしないとイケないのでは」という思いです。
その中で、立ち上がり始めたばかりの宇宙産業が思い浮かんできました。

Q. みなさまにメッセージをお願いします。



今後、セミナーやインタビューなど様々なコンテンツを通して、この運用戦略で着目している宇宙産業の魅力や、研究・開発の情報を発信してまいります。ぜひ今後の展開にもご期待ください！

ファンド研究所では、引き続き様々な情報発信をしてまいります。
ぜひご注目ください。

山崎ファンドマネジャー所属チーム

日本株グロース戦略 って？

日本の株式市場において将来的に高い成長が期待される企業を調査・分析し、中長期的な企業価値の向上に着目して投資を行うチーム。目先の業績や株価の動きだけではなく、社会や産業の構造変化であるメガトレンドを捉えながら、新たな成長市場や企業の可能性を深く調査。企業訪問や専門家との対話などを通じて企業の本源価値を見極め、独自の視点で投資機会の発掘に取り組んでいます。

本資料に関する留意事項(研究開発目的の情報提供について)

- ・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社(以下、当社)の投資運用業に関する取組みおよび投資者の皆さまの投資に関する理解を深めていただくことを目的として、当社が中長期的な運用力の向上に向けて実施している研究・開発(R&D)活動について、当該活動で研究・開発している戦略(以下「本運用戦略」といいます。)を採用する一部のファンド(研究・開発のために設定・運用しているファミリーファンド方式のマザーファンドであり、投資者の皆さまが投資することはできません)の情報提供をすることを通じて説明するものです。本資料の内容は、金融商品の販売・勧誘を目的としたものではありません。
- ・本資料に掲載している内容は、金融商品取引法に基づく有価証券の募集、売出し、勧誘、またはそれらに類する行為を目的とするものではありません。また、お客さまに対する情報提供を目的としたものであり、当社が特定の有価証券の取引を推奨するものではありません。
- ・本資料に掲載している本運用戦略(マザーファンド)は、販売対象となる投資信託ではなく、一般投資家向けに提供・販売される予定はありません。したがって、本資料の情報は、投資判断を行うための資料ではなく、届出前の金融商品に関する勧誘、またはこれに類する行為には該当しません。また、本運用戦略(マザーファンド)に関する費用等はございません。
- ・また、将来において本資料に記載した内容と同一または類似の金融商品が組成・提供されることを保証するものではなく、本資料に掲載した内容は、予告なく変更される場合があります。
- ・研究に用いているデータ、前提条件、分析手法等は、検証時点におけるものであり、実際の運用環境や市場状況を反映しているものではありません。また、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。
- ・本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- ・本資料の情報に基づいて行われた、いかなる判断・行動についても当社は責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。

【本運用戦略に係るリスクについて】

- ・本資料に掲載している本運用戦略は、主に国内外の株式や公社債、リート等の値動きのある有価証券等を投資対象としています。当該対象資産は、株式相場、金利水準、為替相場等の変動や、有価証券等の発行者の業務や財産状況の変化により、当該対象資産の価格や評価額が変動することによって損失が生じ、投資元本を下回る可能性があります。
- ・先物取引、オプション取引、信用取引等(デリバティブ取引等)については、当初投資元本(証拠金、保証金等)を上回る損失を生じることがあります。また、当該取引においては、取引相手等の信用状況等により損失が生じることがあります。

【本運用戦略に係る費用等について】

本資料に掲載している本運用戦略を提供した場合、以下の手数料・費用等が生じます。概要は記載の通りですが、お客さまとのお契約内容により、手数料・費用等は異なりますので、具体的にお示しすることはできません。

■投資顧問報酬や運用管理報酬

投資助言や投資一任によるサービスの場合は、そのサービスの対価として、契約資産額に運用戦略ごとに定めた料率を乗じた投資顧問報酬や運用管理報酬が契約期間に応じて生じます。また、成功報酬をご負担いただく場合があります。成功報酬は個別に計算方法が異なり、また運用実績に応じて変動しますので、事前に具体的な計算方法、上限額をお示しすることができません。これら投資顧問報酬や運用管理報酬は、投資対象や運用手法等が異なるため、事前に金額、上限額またはこれらの計算方法を一律に表示することができません。

■その他の費用・手数料

投資一任契約においては、投資顧問報酬のほかに、運用にあたって投資する金融商品等の売買委託手数料、投資した金融商品等の保管費用等の費用がかかります。これら費用は運用状況に応じ変動しますので、事前に具体的な上限額等をお示しすることができません。投資信託組入れを通じてご提供する運用戦略の場合、当該投資信託に係る費用(投資信託の信託報酬、信託財産留保額、組入れ、解約等に際しての手数料等、組入有価証券の売買委託手数料、有価証券の保管などに要する費用、管理費用、監査費用、設立に係る費用、借入金利息、借株の費用等)が生じます。これらの費用等は、運用状況、売買条件や保有期間等により異なるため、事前に費用の金額または上限額等を一律に表示することができません。

《ご注意》

上記のリスクや手数料等は、契約内容及び運用状況等により異なりますので、契約を締結される際には、事前に契約締結前交付書面によりご確認ください。

【本運用戦略の研究・開発(R&D)および情報開示】

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号 / 加入協会：一般社団法人資産運用業協会

【ウェブページの運営および管理】

株式会社スマートプラス
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3031号 / 加入協会：日本証券業協会・一般社団法人資産運用業協会・一般社団法人第二種金融商品取引業協会